

船橋駅・西船橋駅周辺帰宅困難者等対策推進協議会の進め方について

平成24年度(7月～8月)

8月

9月～

駅(船橋駅・西船橋駅)ごとに「ワーキンググループ」を設置し、それぞれの対策について検討する

25年度

設立準備

協議会及びワーキンググループでの検討

- <鉄道事業者>
 - JR東日本
 - 京成電鉄
 - 東武鉄道
 - 東葉高速鉄道
 - 東京地下鉄
- <大規模集客施設>
 - 西武百貨店
 - 東武百貨店
 - イトーヨーカ堂
 - シヤポ(シエアール東日本都市開発)
- <周辺商店会等>
 - 船橋商工会議所
 - アイラブなばし実行委員会
 - 西船橋商店会
 - 船橋駅周辺地区環境整備協議会
 - 船橋フェイスビル
- <帰宅困難者支援協定先等>
 - 船橋グランドホテル
 - 石井食品
 - クロス・ウェーブ船橋
 - 桜エイジェンシー
 - 鶴長観光
 - ティップネス船橋店
 - フローラ西船
- <学校・公民館等>
 - 船橋小学校
 - 葛飾小学校
 - 葛飾中学校
 - 中央公民館
 - 葛飾公民館
 - 勤労市民センター
- <公的機関>
 - 千葉県葛南地域振興事務所
 - 船橋警察署
 - 船橋市消防局
 - 千葉県警察本部(オブザーバー)
 - 船橋市

【協議会の運営方針】

- ◆顔の見える関係を築き、情報の共有や交換を図る。
- ◆主な3つの課題について、検討を重ね、結果を取りまとめる。(状況に応じて検討項目を追加する。)
- ◆最終的には、関係機関と合同で帰宅困難者等対策訓練を実施する。

帰宅困難者等対策推進協議会設立

情報連絡体制の確立

会員相互の情報連絡体制の検討

- 船橋市ー各駅を軸として関係機関との情報連絡網を作成し共有する。
- 連絡手段(方法)の確認・明確化
- 確認内容の選定
 - ・鉄道の運行状況
 - ・帰宅困難者発生の状況
 - ・避難所及び一時滞在施設の開設状況

帰宅困難者への情報提供内容・方法の検討

- 提供内容の検討
 - ・むやみに移動を開始しないことの周知
 - ・鉄道運行状況、安否確認方法
 - ・避難所及び一時滞在施設等の開設状況 等
- 駅周辺事情を踏まえた情報提供方法
 - ・インターネット、エリアメール、安心メール
 - ・電光掲示板の活用

帰宅困難者等発生の抑制と安全確保

帰宅抑制の検討

- 一斉帰宅の抑制対策の検討
 - ・企業や学校等における施設内待機方法(周知)・大規模集客施設における利用者保護 等

一時滞在施設等の選定・確保

- 駅周辺の一時的滞在施設の選定・確保(公共施設・民間施設)
 - ・受入方法の検討
 - ・運営方法の検討(市及び各施設の対応)
- ※県協議会作成のガイドラインを参考に運営方法を検討
- 帰宅困難者支援施設(民間施設)の協定締結先の拡充

各施設への避難誘導の検討

- 誘導方法
 - ・役割分担
 - ・ルート選定
- 誘導員の必要性 等

帰宅困難者等の支援

帰宅支援対象道路と駅周辺の接続ルートの設定

- 支援ルートの要件(安全性等)の確認

接続ルート等を踏まえた駅前支援マップの作成

- 接続ルートの標記
- 一時滞在施設・帰宅支援ステーション等を地図上に標記

千葉県帰宅困難者等対策連絡協議会における検討

反映

反映

反映

帰宅困難者等対策訓練の実施